

5 広島県保育士人材バンク

広島県保育士人材バンク（以下人材バンク）は広島県健康福祉局 働く女性応援プロジェクト・チーム内に無料職業紹介事業として設置されている。広島県の直営として平成24年7月19日に開設した。保育士有資格者で就業経験もある保育士就業支援員を配置している。人材バンクで取り扱う職種は保育士、看護師、保健師、栄養士である。開所時間は月曜日～金曜日の8時30分～17時15分である。求職者に対する研修の実施は広島県保育連盟連合会（以下「県保連」）に委託し、就職相談会は広島市及び県保連など保育関係機関との共催である。県直営の利点を活かし、各機関と協力的な体制を築いている。

1 人材バンクの取組内容

主な業務内容は求人・求職者の募集と登録、相談業務、マッチング、求職者に対する研修と就職相談会の実施などである。求職者が勤務条件だけで就業先を決定するのではなく、「ここだったら就職したい」と保育所の方針や雰囲気共感し、継続して就労できるような環境を設定するように努めている。初年度に単独で開催した就職説明会は、人材バンク開設から約2年が経過した平成26年に広島市及び関係団体と共催し、参加者数の増加を図るなど取組内容の見直しを積極的に行っている。

なお、次回の開催においては労働局とも共催する予定である。

(1) 人材バンクの登録機能

求人・求職登録はホームページから手続きするか、人材バンクへ来所し、登録票に記入する。求職票には年収制限の希

【広島県保育士人材バンク ホームページの登録画面】

広島県無料職業紹介所
広島県保育士人材バンク


広島県のまじも
元気にっしょいサマクワン
イクちゃん

広島県保育士人材バンク
〒730-8511 広島県広島市中区基町 10-52
広島県健康福祉局働く女性応援PT内
TEL 082-227-3090(直通)

[トップ](#) [求職登録](#) [求人登録](#) [求人情報検索](#) [研修・お知らせ](#)

☒ 求職登録

既に登録されている方は、
内容を確認又は編集する
紹介期限を更新する

アクセスID	
パスワード	

登録票のアクセスIDを入力し、ログインしてください。
パスワードを忘れた方は、広島県保育士人材バンクまで
お電話ください。

ログイン

新しく登録される方は、

広島県保育士人材バンクへの登録を希望する方は、
利用規約をお読みいただき、内容に同意の上で
新規登録を行ってください。

[利用規約を読む](#)

求職登録ができない場合には、以下のファイルを印刷し、
郵送又はFAXにより提出ください。
[求職登録票\(PDF\)](#)
[求職登録票\(記入例\)\(PDF\)](#)

利用の流れ

望有無と「年収～万円以下を希望する」という項目があり、「※扶養控除等の関係で年収に制限を掛けたいときはご記入ください」との注意書きがある。育児や家事により短時間勤務を希望する割合の多い潜在保育士の状況を考慮している。同じ事業所が条件の異なる求人案内を出す場合は、4件まで登録することが可能である。平成26年9月の時点で求職人数163人、求人件数248件、求人募集人数519人であった。

【働く女性応援PT
入口の看板】



(2) マッチングの実施

登録の通知を受け取ると、保育士就業支援員が求職・求人登録を照会する。勤務条件で調整可能なものがあるか、保育士就業支援員が双方に連絡し、条件のすり合わせを行う。条件が合えば連絡の上、面接日を調整する。採用・不採用の決定の通知（連絡）に関しては保育所から求職者への通知期間を設け、可能な限り期限内（臨時雇用：3～4日、正規雇用：1～2週間）に連絡することを保育所に依頼している。求職者は午前中の4時間勤務（8時～12時、8時30分～12時30分）の臨時雇用希望が多く、保育所が必要としているフルタイムの保育士有資格者の人員が乏しい。なお、人材バンク発足当初の就業支援対象者の割合は潜在保育士が多数を占めていたが、現在は現職保育士の割合が増えつつある。

(3) 研修の実施

研修は講座研修と実技研修を県保連に委託運営している。講座研修（保育士就職支援セミナー）は平成24年から継続実施しており、人材バンクの登録者を対象とし、保育士専門職としての知識と技術の習得を目指している。平成24年度は6回、平成25年度以降は各1回開催した。

【保育士就職支援セミナーの参加者数 ※実施内容は平成26年度開催プログラム】

年 度	月 日	場 所	時 間	内 容	参加者	参加者 合計
平成 24 年度	8 月 20 日 (木)	広島県 健康 福祉セ ンター	9:30 ～ 15:30	(参考) 平成 26 年度プログラ ム 講義「子どもの育 ち」 講義と質疑「保育所 ってどんなところ」 ・子どもたちの遊び ・子どものつぶやき ・保育現場で起こる 今どきの問題 講師：市立大学支 援センター特任教 員	15	58
	9 月 25 日 (火)			7		
	10 月 30 日 (火)			12		
	11 月 29 日 (木)			10		
	1 月 31 日 (木)			8		
	3 月 7 日 (木)			6		
平成 25 年度	2 月 28 日 (木)				21	21
平成 26 年度	10 月 24 日 (金)			アドバイザー：県内 保育所長4人	16	16

実技研修は保育現場での感覚を取り戻す目的から県内保育所の受け入れ可能な保育所において実施されている。これまでに23人（平成24年度：9人、平成25年度：10人、平成26年度～8月末：4人）が参加した。実習期間は保育所と参

加者の調整の上、1日～1週間となっている。要相談であるが、実習先を選択することができる上に、有給で参加¹することができるのは参加者にとって大きなメリットとなっている。

(4) 就職説明会の実施

就職説明会は平成25年度から年2回、2会場で実施された。研修と同様、県保連に委託運営している。平成26年度は「保育士就職ナビひろしま 2014～保育士就職相談会～」と題して開催された。6月22日の広島会場には153施設、535人が参加し、前年度の同会場開催と年度別の比較で3倍の増員になっている。大幅に増員した理由として広島市及び関係団体との合同開催により、広報周知が行き渡ったことが大きな要因である。また、この日参加していた潜在保育士18人が人材バンクへ登録した。

【就職説明会の参加数 平成25年度～平成26年度】

年 度	月 日	場 所	ブース数	参加人数	合計人数
平成 25 年度	9月14日(土)	福山市内	39	28	206
	9月21日(土)	広島市内	52	178	
平成 26 年度	6月15日(土)	福山市内	59	246	781
	6月22日(土)	広島市内	153	535	
合 計			303	987	

(5) 相談業務

相談業務は電話相談と来所相談があり、いずれも増加傾向にある。相談内容は求職者からはブランクに対する不安、現職保育士からは職場の人間関係などが寄せられている。相談業務の連携としては「しごとプラザ マザーズひろしま」に設置されている以下の施設と協力関係にある。業務委託している「わーくわくママサポートコーナー」では就職準備に際して利用可能な保育所情報の提供、「マザーズハローワーク広島」では求人情報検索の利用など就職への意欲と機会を逸することのないよう幅広い対応を行っている。

【相談件数 平成24年度7月～平成26年度(～5月)】

年 度	電話相談件数	来所相談件数
平成24年度(7月～)	1,207	31
平成25年度	2,594	25
平成26年度(～5月)	475	12
合 計	4,276	68

2 人材バンク運営の特徴・工夫点

ハローワークとの差別化を図る取組として、求職者ひとりに対し、1件の求人を紹介し、採否の結果を待って次を紹介している。保育所に依頼している採否の連絡期間設定の対応（1－

¹ 県保連への運営委託料から支払われ、金額は参加者の経験年数及び受入保育所の賃金等を考慮し、受入保育所が決定する。

(2)) と共に、求職者と求人者双方の信頼関係を大切にする方針の下、マッチングが行われている。さらに保育士経験者であり、保育現場の実情に詳しい保育士就業支援員の親身な相談対応も、継続的な就労環境を見つける取組として重要な点である。

もう一点の特徴は、就職説明会で配布した参加保育所の紹介冊子『参加保育所 保育園の紹介・施設の紹介一覧』の掲載情報である。平成 26 年 6 月

【就職相談会 配布冊子】



22 日開催に際して作成した冊子には、参加保育所の連絡先一覧と、①個別保育所の施設紹介、②勤務条件例（1 年目）、③求人などの状況が記載されている。②勤務条件例は「正規職員」「臨時職員※常勤の場合」に給与や諸手当（賞与、年〇回、〇か月分）を任意で記入するようになっており、求職者への情報公開が進んでいる。

3 人材バンク運営事業の実績

人材バンク運営事業の実績として、開設から平成 26 年 5 月末までの紹介人数 257 人のうち就職者が 204 人と 79%が採用に結びついている。さらに就職人数に限定すると、平成 26 年 9 月末の時点で 259 人と 4 ヶ月で 55 人増えている。着実な成果は、開設から 4 千件超の相談を受けた対応が積み重なった結果でもある。幅広く多様な就業支援によって事業が効果的に運営されている。

【就業あっせん状況(平成24年度7月～平成26年度5月)】

年度	求人登録数	求職登録数	紹介人数	就職人数
平成 24 年度(7 月～)	479	327	82	65
平成 25 年度	405	253	132	103
平成 26 年度(～5 月)	37	59	43	36
合計	921	639	257	204

4 人材バンク運営の課題

課題としては、求職者、求人者への周知方法が挙げられる。ハローワークに較べて知名度では劣るため、求職活動もしくは求人情報の掲載に関して広報を通じて人材バンクの利用を呼びかけていくことが重要となる。